

JR西日本 公募増資

2021/09/02

JR西日本が公募増資

- 9月1日、**約3,000億円** の公募増資を発表
- 希薄化率は **27.5%**
- 株価は **15%超下落** (9月2日11時時点)

市場概説 > 西日本旅客鉄道

5,041 JPY

TYO: 9021

+ フォロー

-908.00 (-15.26%) ↓ 過去 5 年

9月2日 10:31 JST · 免責条項

1 日 | 5 日 | 1 か月 | 6 か月 | 年初来 | 1 年 | 5 年 | 最大



増資で株価が下がる理由

1

希薄化

分母が増え、1株あたりの価値(利益・配当)が減少

2

株式需給悪化

株式供給量が増え、需要が追いつかない



増資は悪いことではない！

- 上場する最大の目的は **資金調達**
- **希薄化以上の価値** を生めば良い
 - 大切なのは「資金使途」
- 一時的な苦境を乗り越え羽ばたくケースも

6,205 JPY

TYO: 6501

+ フォロー

-1,115.00 (-15.23%) ↓ 全期間

9月2日 10:45 JST · 免責条項

1日 | 5日 | 1か月 | 6か月 | 年初来 | 1年 | 5年 | 最大

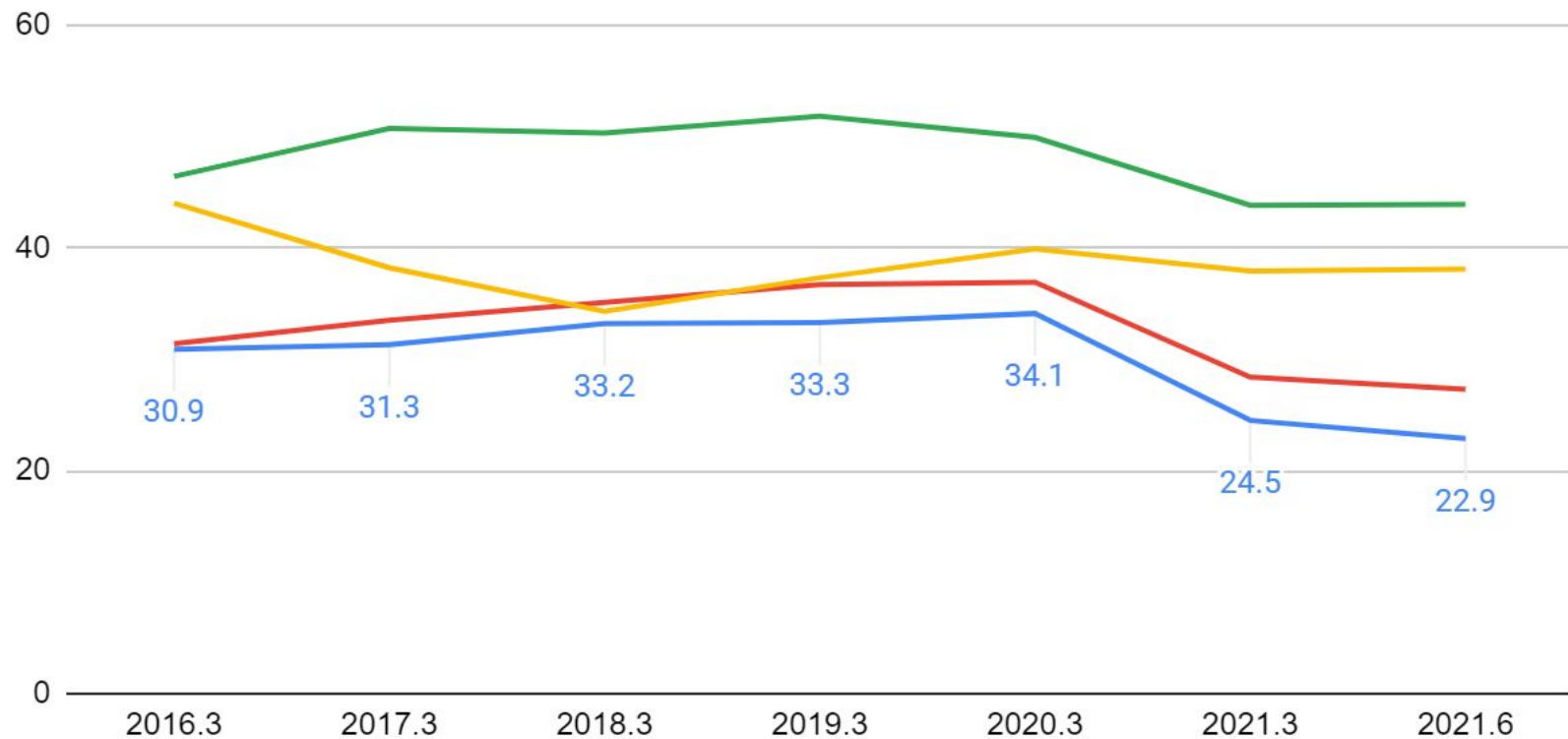


資金使途

| 設備投資の内容 | 投資予定金額（百万円） | | 着手及び完了予定年月 | | 所要資金の 調達方法 |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|------------|--------|-----------------------------|
| | 総額 | 既支払額 | 着手 | 完了予定 | |
| コスト構造改革に向けた鉄道 オペレーションの生産性向上※ ・各種センサー及びネットワーク検査 機器、省力化設備の導入 等 | 90,000 | 41,358 | 2018年4月 | 2022年度 | 自己資金・借入金・ 社債発行及び増資 資金 |
| 広域鉄道ネットワーク磨き上げに に向けた車両新製 ・N700S 2編成増備 ・北陸新幹線車両増備 等 | 76,495 | 170 | 2017年10月 | 2023年度 | |
| 地域共生の実現に向けたまちづくり | | | | | |
| 大阪駅周辺開発 | 100,397 | 2,341 | 2019年8月 | 2027年春 | |
| 広島駅周辺開発 | 59,621 | 5,232 | 2019年10月 | 2025年春 | |
| 変化対応力向上に向けた JR西日本グループデジタル戦略推進※ ・モバイルICOCA(仮称)システム開発 ・MaaSアプリ開発 ・データ利活用基盤整備 等 | 20,000 | 1,155 | 2020年6月 | 2022年度 | |

自己資本比率

JR西日本 JR東日本 JR東海 JR九州



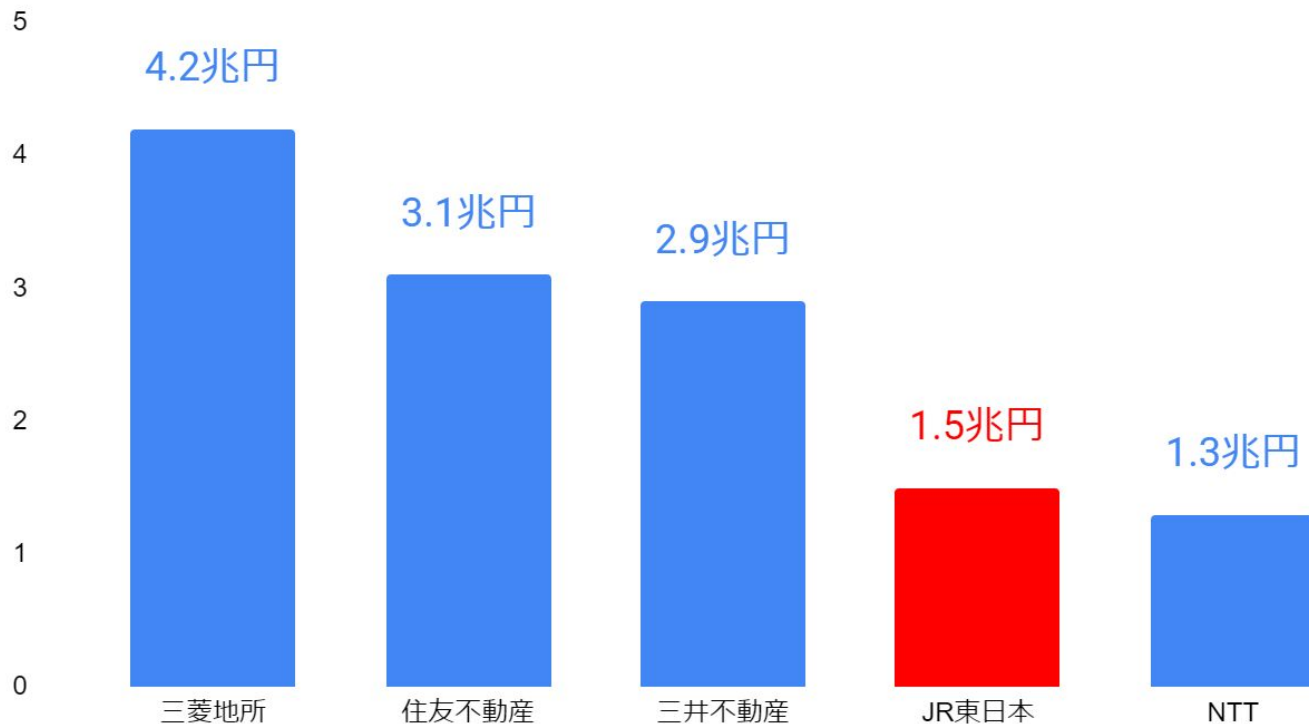
JR西日本公募増資の所感

- コロナ禍継続の中、財務状況悪化回避のためやむなし
- 資金使途に目新しいものはなく、期待感は薄い
- 増資に報いる経営変革ができるかどうか
- コロナ前基準PERは約10倍

JR東日本は？

- 自己資本比率はJR西日本と同程度(株価7%下落)
- 不動産含み益は1.5兆円(総資産の15%に相当)
- ファンドへの不動産売却・資金調達を検討
- 年1,000億円のコスト削減
- コロナ前基準PERは約9倍

不動産含み益ランキング



6,893 JPY

TYO: 9020

+ フォロー

-2,133.00 (-23.63%) ↓ 過去 5 年

9月2日 11:29 JST · 免責条項

1 日 | 5 日 | 1 か月 | 6 か月 | 年初末 | 1 年 | 5 年 | 最大

